

デジタル時代の高精細 , 大画面ハイビジョンプラズマテレビ 「W60P-XR10000 , W50P-HR10000 / H10000」



左 : W60P-XR10000 右 : W50P-HR10000

ハイビジョンプラズマテレビ「W60P-XR10000」では、ハイビジョン映像で現在最も高精細な、水平1,920画素、垂直1,080画素で撮像された映像を、そのままの高精細な映像で表現可能な60V型フルHDパネルを新規開発、採用した。地上デジタル放送の全国普及率が約8割に達する2006年12月より発売する。

製品の特徴

(1) フルHD画質を高精細に表現

1,920×1,080画素の映像をそのまま表現できるフルHDパネルを採用した。デジタル映像を高精度に表現する「PictureMaster HD」を搭載し、フルHD画質の映像を超高

精細で楽しむことができる。

(2) 先端の新世代デザインを採用

60V、50V型ともに、フラットパネルテレビの軽快さと品質を感じさせる緻密な仕上げを施した新デザインを採用した。製品の最先端テクノロジーを切り出し、秘めたクオリティを外観で表現する、新世代デザインコンセプトに基づいている。

(3) HDDで簡単録画

ボタン一つですぐ録画ができるHDDレコーダを内蔵した。新技術「XCodeHD」を採用することにより、デジタルハイビジョン映像を、高画質のまま約50時間録画できる。

このほか、1,280×1,080画素の1080ALISパネルを搭載、新デザインを採用した「W50P-HR10000 / W50P-H10000」を、2006年11月より順次発売する。W50P-HR10000は、ボタン一つで録画が可能なHDDレコーダ内蔵など、操作の簡単さを継承しながら高画質・大画面を実現した。

IPS パネルが大画面に進化 動画も美しい「W37L-HR9000 / W37L-H9000」

37V型として初めてIPSアルファテクノロジー社製「IPS パネル」を採用したハイビジョン液晶テレビ「W37L-HR9000」, 「W37L-H9000」を2006年9月に発売した。また、画質は9000シリーズの高精細画質を実現しながら機能をシンプルにした90シリーズも、32V型、26V型液晶2モデルの発売を開始した。

製品の特徴

(1) 視野角が広いIPS パネル

IPS パネルは視野角が広く、上下左右178度からの視聴が可能である。さらにワイドビューフィルターを装備することで、さまざまな角度から色ずれがなく映像を楽しむことが可能であり、多人数でテレビを見るリビングでの視聴に適した液晶テレビである。

(2) 日立独自技術の「倍速スーパーインパルス表示」

1秒間に60コマの元の映像を、1秒間120コマの倍速に変換して液晶のホールド効果を軽減するとともに、映像と映像の間に黒い映像を挿入するインパルス駆動により、動画のぼやけを大幅に抑制した。スポーツなどの動きの速い映像も鮮明に出せる。

(3) 全機種に「PictureMaster HD」を採用

画像処理エンジンとデジタルハイビジョン放送デコーダLSIを統合し、処理能力を飛躍的に高めた「PictureMaster

HD」を全機種に採用、すべての機種で高精細、高画質を楽しめる。

(4) 「かんたんリモコン」採用

よく使うチャンネル選局ボタンは大型サイズで、黒地に白文字の見やすい印字を施した「かんたんリモコン」を採用した。地上デジタル放送、BSデジタル放送など、見ている放送がすぐにわかる液晶表示機能も搭載している。

(5) HDDで簡単録画

W37L-HR9000にはボタン一つですぐ録画ができるHDDレコーダを内蔵した。また、新技術である「XCodeHD」を採用し、デジタルハイビジョン映像を、高画質のまま約50時間録画ができる。



左からW37L-HR9000、W32L-H90、W26L-H90

【お問い合わせ】
お客様相談センター
電話 : 0120-312111 (フリーコール)
製品紹介ホームページ
<http://av.hitachi.co.jp/>

地上デジタルチューナー搭載PC「Prius」

2006年9月に発売を開始した地上デジタルチューナー搭載PC「Prius」は、便利に楽しめる「エコ・ボン・パツ」機能を強化し、地上デジタル放送をきれいに視聴できる高輝度液晶ディスプレイを採用した。

製品の特徴

(1) 便利に楽しめる「エコ・ボン・パツ」

一体型モデルではリモコンから電源投入後約5秒で視聴できる「エコ・ボン・パツ」機能に「TVモード」を追加し、PCでありながらテレビとしての快適な操作性を提供する。

(2) きれいな映像

地上デジタル放送をきれいに視聴できる高輝度液晶ディスプレイを採用し、一体型モデル/セパレートモデルには人の記憶にある美しさを再現する「ピクチャーエンハンス機能」、ノートモデルには好みにあった映像で観る「カラーエンハンス機能」を搭載して、きれいな地上デジタル放送映像を楽しむことができる。

(3) 地上デジタル放送の長時間録画ができるノートPC

新開発の外付け地上デジタルチューナーユニットにより、ノートPC本体の薄型、軽量化を実現するとともに、最大約84時間の長時間録画を実現した。

(4) ダイジェスト再生機能「いいとこ観(み)」に「ドラマ」のジャンル追加

ダイジェスト再生の先駆けである「いいとこ観」に、新たに「ドラマ」をジャンル追加した。会話部分を中心にドラマのストーリーを損なうことなく、効率よく観ることが可能である。

(5) 省スペースな一体型PC

一体型モデルは液晶テレビと同クラスの奥行き19.8 cmの薄型 静音設計なので、自由度の高い設置が可能である。

このシリーズは、日立の地上デジタル専用チューナーLSI「BroadGear」搭載により、ハイビジョン映像処理をハードウェアで行うことで、地上デジタル放送視聴時のシステム負荷を低減し、地上デジタル放送の美しく安定した映像を楽しむことが可能である。

【お問い合わせ】

日立製作所 ユビキタスプラットフォームグループ
ユビキタスシステム事業部 パーソナルメディア本部 開発部 担当：青山
〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目2番1号 新大手町ビル
<http://prius.hitachi.co.jp/>



Prius Air typeR



Prius One typeW



Prius One typeS



Prius Note typeK

世界で初めてHDDとDVDドライブを内蔵した 「ハイブリッドカムWooo」

2006年8月発売の「ハイブリッドカムWooo DZ-HS303」は、HDDとDVDドライブを世界で初めて1台のカメラに内蔵することにより、カメラ本体だけでダビングすることができる。旅行先や帰省先で思い出の映像をDVDにしてその場でプレゼントするなど、これまでやりたくてもできなかった新しい映像コミュニケーションの展開が期待されている。

製品の特徴

(1) たっぷり撮れる

HS303は、日立の8 cm DVDドライブと日立グローバルストレージテクノロジーズ社の8 GバイトHDD「Microdrive」を搭載し、HDDには高画質モードで約3時間、標準モードでは約6時間の長時間録画を可能にした。

(2) カメラ本体だけでダビング

HS303は、HDDに録画した映像をパソコンなどの周辺機器と接続することなく、カメラ本体だけでDVDにダビングすることができる。ダビング時には、HDDの映像を全部まとめてダビングできる

「まるごとダビング」と、お気に入りのシーンだけをダビングする「選んでダビング」が使える。

(3) 撮りたいときに、すぐに撮影

撮影しないときに「秒撮」ボタンを押して待機状態にすることで、次に撮影するとき約1秒で撮影スタートできる「秒撮」モードを搭載。撮りたいときに再度「秒撮」ボタンを押すことですぐに撮影可能な状態になる。



DZ-HS303(S)



DZ-HS303(A) 限定生産品

【お問い合わせ】
お客様相談センター
電話：0120-312111（フリーコール）
製品紹介ホームページ
<http://av.hitachi.co.jp/>

地上・BS・110度CSデジタルチューナ搭載 「デジタルハイビジョンHDD/DVDレコーダWooo」

2006年9月発売の「デジタルハイビジョンHDD/DVDレコーダWooo」は「Cutting edge Design」をデザインコンセプトにして前面を大胆に傾斜させた先進的なスタイルを採用している。また、ハイスペックを簡単に使いこなせるリモコン「らくリモ」を付属した。従来から好評の、デジタルハイビジョン放送を2番組同時に録画できる「デジデジ2コ録り」や、録画した番組のダイジェストを自動で再生できる「いいとこ観」も引き続き搭載している。

製品の特徴

(1) 「Cutting edge Design」

新機種には従来のフロントパネルのみのデザインだけでなく、上面や側面からも成立するデザインを採用し、最上モデル「DV-DH1000S」ではUV（Ultraviolet）塗装仕上げを採用し、光沢感の高い深みのある黒「ピアノブラック」を再現した。中級機種「DV-DH500S/DV-DH250S」には上質なイメージを持つ「シャンパンシルバークロムニウムシルバー」を採用し、薄型テレビの軽快なスタイルやオープンラックとも無理なく調和してインテリアにも映える高級感のあるデザインとなっている。

(2) 「らくリモ」で簡単操作

操作頻度が高い「録る」「見る」という動作に着目し、誰でも簡

単に使えるリモコン「らくリモ」をフルスペック対応の標準リモコンに加えて付属した。番組予約は「録る」ボタンを押して電子番組表から選ぶだけで簡単に行える。見たい番組の再生も「見る」ボタンを使って簡単に検索できる。

(3) ハイビジョン放送を2番組同時に録画可能

新機種もデジタルチューナをダブルで搭載しているため、録画したいハイビジョンの番組が重なっても2番組同時に録画できる。



DV-DH1000S



DV-DH500S



DV-DH250S

【お問い合わせ】
お客様相談センター
電話：0120-312111（フリーコール）
製品紹介ホームページ
<http://av.hitachi.co.jp/>

ハイクオリティワンセグ携帯電話「W43H」



「W43H」は、地上デジタル放送「ワンセグ」に対応し、最長約4時間15分の連続視聴や、外部メモリ（市販品）への長時間録画など「ワンセグ」機能を進化させ、さらにau^{*1}の新サービス「EZチャンネルプラス」²、「EZニュースフラッシュ」³などに対応したハイクオリティワンセグ携帯電話である。

製品の特徴

(1) 「ワンセグ」を2.6インチワイドQVGA（Quarter Video Graphics Array）液晶で、長時間の連続視聴が楽しめる、外部メモリへの長時間録画も実現

160度の広視野角を実現する2.6インチワイドQVGA液晶で最長約4時間15分の連続視聴が可能。外部メモリに最長約2時間40分（microSD²）メモリカード512 MB（市販品使用時）の録画を実現している。

最新の信号処理技術で「ワンセグ」を臨場感あふれるサウンドで楽しめるほか、録画番組を音声付きの1.3倍速で再生する「音声付短再生」、テレビ視聴中に着信があった場合には、通話終了後に放送中の番組を後追いで再生する「タイムシフト再生」などを搭載し、より快適に「ワンセグ」を視聴できる機能充実のモデルである。

(2) 情報配信サービス「EZチャンネルプラス」²、「EZニュースフラッシュ」³や、大切なデータをバックアップできる「au My Page」など、auの最新サービスにいち早く対応

auの新しい「マルチキャスト通信」サービスにより、番組仕立てのハイクオリティな映像コンテンツを夜中に自動配信する「EZチャンネルプラス」や、最新のニュース・天気・占いなどの生活情報が自動で配信され、待受画面によって簡単にチェックできる「EZニュースフラッシュ」、自分だけのポータルページ作成やEメール・写真など大切なデータを100 Mバイトまで保存できる「au My Page」、メールの背景色・文字色・レイアウトを自由自在に変更したり絵や写真で装飾して楽しめる「デコレーションメール」などにいち早く対応している。

(3) 最新機能を大画面で楽しみ、質感・塗装の仕上げなどにこだわった外観デザイン

デザイン面では、23 mmの薄さを実現したほか、表面ケースに2色成型を採用し、透明層に厚みを持たせることでガラスのような質感を持たせている。カラーは、特殊な偏光塗装やフロスト加工などとの組み合わせにより、美しく個性あふれる新感覚のカラーパリエーションを採用した。卓上ホルダは、横置きで「ワンセグ」、縦置きで「EZチャンネルプラス」²、「EZニュースフラッシュ」³など、それぞれのコンテンツに合うスタイルで楽しめる2スタイルチャージャを採用している。

(4) 使いやすさを追求した、充実した機能と豊富なアプリケーションを搭載

「au LISTEN MOBILE SERVICE」⁴、「SDオーディオプレイヤー」など多彩な音楽機能、手ブレ軽減2.1メガピクセルオートフォーカス付カメラ、ウェブサイトが閲覧できる「PCサイトビューアー」、PCのファイルを表示する「PCドキュメントビューアー」、EZ FeliCa^{*3}に対応し、読取り機にかざすだけで支払いなどができる「おサイフケータイ^{*4}」、約23万語を収録した6つの「モバイル辞典」など、充実した機能と豊富なアプリケーションを搭載している。

1) 「au」は、KDDI株式会社の商標または登録商標である。

2) microSDは、SDカードアソシエーションの商標である。

3) FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式であり、登録商標である。

4) 「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標である。

その他の会社名、製品名などはそれぞれの会社の商標もしくは登録商標である。

【お問い合わせ】

日立製作所 コピキタスプラットフォームグループ

マーケティング事業部 携帯電話本部 担当：吉田，寺本

〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目2番1号 新大手町ビル

TEL：03-4232-5075（ダイヤルイン）

http://www.hitachi.co.jp/mobilephone/